



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成18年 **8** 月号
No.183

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

谷垣さん、自民党総裁選に出馬



前尾氏の墓前に総裁選への必勝を誓う谷垣財務大臣と同行した二ノ湯議員

故前尾氏の墓前で必勝を誓う

小泉総裁の任期満了にともなう自民党総裁選挙は、9月8日に告示され、9月20日に国会議員・党員・党友による投票が行われる。出馬が予想された福田康夫氏が辞退を表明、「麻垣康三」の一角が崩れ、安倍晋三、谷垣禎一、麻生太郎の三氏の争いになりそうだ。

今回の総裁選挙は、5年余り続いた小泉政権の政策を継承し、更に日本の課題にどう対処するのが、極めて重要な意味を持っている。小泉政権の①官から民へ、②中央から地方へ、③政治主導の意思決定、の3つの大きな流れは誰が総理になろうとも、喰い止めることはできない。一方小泉構造改革の中で生じた中央と地方の格差の解消、競争に負けた人々が再びチャレンジすることの可能な社会の構築、そして国、地方の財政再建は避けて通れない。また、小泉首相の靖国神社参拜に端を発した中国、韓国とのギクシャクした外交関係も回復しなければならぬ。さらに、少子高齢社会においても、国民の納得のいく、持続可能な社会保障制度作りを取り組む必要がある。各候補者はこれらの問題について大いに政策論争を展開し、国民に各々の思いや決意を述べてもらいたい。

恒心

地元京都の谷垣禎一衆議院議員が、7月27日に自民党総裁選挙に出馬を表明した。谷垣さんは、昭和20年生れで、現在61歳の男盛りである。政治家として

最も油の乗り切った頃でもある。京都出身の政治家で自民党総裁選挙に名乗りを上げた政治家としては、故前尾繁三郎先生以来である。前尾先生は、昭和43年に総裁選に挑んだが、多数の票を獲得できず、宏池会々長の座を大平正芳氏に譲る羽目に陥った。京都からの総理大臣としては、谷垣さんと同じ福知山出身の芦田均氏が昭和23年3月に就任して以来、絶えて久しく誕生していない。安倍氏が断然有利な情勢の中で、谷垣さんを取り巻く環境は厳しいが、見識・人柄は抜群の人であるだけに、選挙運動を進める中で、幅広い国民の支持が得られることを期待したい。谷垣さんは政権構想の大きな柱として、アジア外交の立て直し、地域の活力復活、財政再建を掲げているが、根が真面目な人だけに、演説がやや理論的で高尚なため、一般国民に良く理解できない面もある。もっと簡潔にわかりやすく、自らの政策を国民に訴えれば、支援の輪は更に大きく広がっていくのではないかと。

8月5日、谷垣さんは右京区嵯峨清涼寺(釈迦堂)に眠る第二代宏池会々長であり、偉大な指導者であった故前尾繁三郎先生のお墓参りをして、墓前で総裁選出馬についての報告とやる以上は全力を挙げて頑張ると決意を誓った。

谷垣さんの健闘を祈っている。

自民党近畿ブロック協議会が設立 8月5日、ブロック大会を開催



来賓の挨拶をする
太田房江大阪府知事
(大阪市中央公会堂にて)

6月13日、自民党本部で近畿ブロック協議会設立総会が開催された。近畿の各府県連に所属する国会議員に加えて、各府県連の会長、幹事長、事務局長、府県議会議員団長、政令指定都市議会議員団長らも参加した。これを機に、地域ブロック毎に国・地方の枠を超えて団結する機運が益々高まりそうだ。

現在の党執行部は、昨年からの、党運営のあり方を、従来の派閥中心から地域ブロック(近畿、南関東など)中心へと、方針転換を図っている。従来派閥から選出されていた党運営を担う党総務会の委員や国会運営を担う国会対策副委員長が、各ブロックからも選出されるようになっていた。また、自民党国会議員は、昨年からのブロック毎に勉強会を開催(近畿ブロックも17回)してきた。

総会では、まず規約案などが承認され、その後、役員が選出された。会長には、中山太郎衆議院議員(大阪18区)、副会長には伊吹文明衆議院議員(京都1区)、事務局長には北川イッセイ参議院議員(大阪)がそれぞれ選任された。また、党執行部が年一回の開催を要請しているブロック大会の開催を、9月に予定される自民党総裁選の機運を盛り上げてほしいとの執行部の要請を汲んで、近畿ブロックとしては、8月5日(土)大阪市中央公会堂で開催した。

自民党政務調査会琵琶湖総合保全小委員会 琵琶湖を現地視察

自民党政務調査会琵琶湖総合保全小委員会は、8月4日、滋賀県琵琶湖の現地視察を行い、京都府からは二ノ湯議員が出席した。今回の視察の目的は、近畿1400万人が水道水として利用している琵琶湖の現状と、保全のための施策の実施状況を確認することであった。

JR大津駅到着後、先ず滋賀県琵琶湖・環境科学研究センターを訪れ、近年の琵琶湖水質と生態系の動向についての説明を受けた。次に、船に乗り琵琶湖南湖沖で、透明度の計測を見学、その後、大津プリンスホテルで琵琶湖総合保全小委員会が開かれ、嘉田由紀子滋賀県知事の挨拶の後、琵琶湖

佐藤一佐を囲む会

去る7月25日、イラクに派遣されていた陸上自衛隊の最後の部隊が無事帰国した。イラク戦争後、イラクの復興支援に派遣された陸上自衛隊は、2年間に亘るサマワで



佐藤一佐を励ます二ノ湯議員

の総合的保全施策の実施状況の説明を受けた。京都府においても京都市のほぼ100%、そして南部地域の多くの人々が琵琶湖の水の恩恵を受けており、琵琶湖の保全については真剣に取り組む必要がある。



滋賀県・連(さざなみ)琵琶湖環境政策室長より説明を受ける二ノ湯議員
(「みずすまし2世号」船上で)

の活動期間中、一人の犠牲者を出すことなく全員が無事帰国することができた。これには、2004年1月に先遣隊長、及び第一次イラク復興業務支援隊長として、自衛隊の活動の基礎を築いた、佐藤正久一佐の働きが大きい。

帰国後、佐藤一佐は、福知山駐屯地司令、第7普通科連隊長として赴任し、1年8ヶ月間の在任中、約200回にわたる講演を各地で行い、国民にイラク復興支援の重要性を説いて回った。陸自幹部学校の主任教官への異動を前に、今までの佐藤一佐の苦労を称え、今後の活躍を祈る目的で、7月26日、「佐藤一佐を囲む会」が開かれた。二ノ湯参議院議員も来賓として招かれ、佐藤一佐の活躍をたたえた。

二ノ湯議員、大雨被災地を視察

梅雨前線の活動に伴い、7月中旬から降り続いた大雨が日本各地に甚大な被害をもたらした。京都府においても、京丹後市、伊根町を中心に被害が拡大し、土砂崩れが発生し、京丹後市では二人の方が亡くなられた。

自民党京都府連では大雨災害対策本部を設置し、本部長に二ノ湯議員を任命し、復旧対策に乗り出した。二ノ湯議員は24日に伊根町および京丹後市に入り、各役所で災害状況の説明を受けた後、自治体関係者や地元府市町議会議員等と現場を視察した。伊根町ではカマヤ地区の国道178号線路面崩壊を、京丹後市では間人地区の裏山崩壊を目の当たりにし、改めて今回の大雨被害の大きさと早期復旧の必要性を痛感した。また、間人地区では、避難を余儀なくされ、大変苦労されている住民の方々をお見舞いに訪れた。二ノ湯議員は、被災地の住民や自治体からの要望を受け、早期復旧が実現できるように国に強く働きかけることを約束した。



京都府丹後土木事務所関技術次長から説明を受ける二ノ湯議員
(伊根町カマヤ地区で)

二ノ湯議員、「月刊自由民主」に随筆を寄稿 二ノ湯の苗字について



自民党本部より発行されている「月刊自由民主」の編集者から「つれづれに想う」の欄に何のテーマでもいいから、軽い随筆風のものを書いて欲しいという依頼が舞い込んだ。何について書くかあれこれ考えたが、適当な題材が浮かばなかった。恩師、父親、あるいは友人との思い出なども考えたが多くの方がすでに取り上げており、少し平凡すぎて気が進まなかった。思案したあげくに思いついたのが、自分の苗字であった。珍名に属する私の苗字「二之湯」のことを書けば、多少面白いものが書けるかも知れないと思った。もとより一七〇〇文字という制限があったが、編集者への責任は果たした。この随筆は8月号に掲載されたが、編集者の了解を得て、「えとす」に掲載することにした。多くの人々に私の苗字のルーツを知ってもらえれば幸いである。

つれづれに想う

「変わった名前ですね」、「こんな珍しい名前初めてです」、「どこのご出身ですか」、「どこかの温泉と関係があるんですか」、「実家はお風呂屋さんですか」等々、名刺を交換する度に相手側から、こんな言葉が発せられる。言われてみれば、私の名前は確かに変わっている。誰も苗字とは思わない。戦時中、父親が山陰地方に出張し、城崎温泉に宿泊した。泊まった宿屋は「一の湯」という。宿帳に記名を求められ、父親が「二之湯正義」と書くと旅館の番頭さんが、「お客さん、冗談しないでください」と言ったそうだ。そこで、父親が名刺を出して、ようやく納得したという笑い話がある。

しかし、三重県の私の田舎は二之湯姓ばかり。しかも小学校時代は、友達同士互いに名前を呼び合っていたので、二之湯姓が珍しいなどとは、中学校でのあの出来事が起こるまでは意識しなかつた。

それは昭和三十二年五月、三重県の小学校を卒業し、京都市の中学校に転校して初めての音楽の授業のことである。先生は、私が教科書を持っていないことに気づき、「君の名前は」とたずねた。「二之湯です」と答えると、先生に「何？」と聞き返された。再び「二之湯」を巡っての押し問答の末、とうとうしびれを切らした先生から、「黒板に名前を書きなさい」と言われた。私が名前を書く、「けったいな名前やなあ」と笑われた。もちろん教室の生徒達も先生と一緒に

笑った。私はその時初めて「二之湯」という名前が、変わった珍しい名前であることを思い知らされ、大変恥ずかしい思いをした。

私たち一家が引越してきた昭和三十年代前半、京都市内には二之湯姓は私の一家しかなく、郵便物も「京都市・二之湯」だけでも届いていた。それほど「二之湯」は珍しい名前であった。さすがに現在では、人の移動範囲が広がったので、愛知県・岐阜県・茨城県、遠くは岩手県にも二之湯姓が見られる。それでも全国で七十七世帯しかない。電話で問い合わせたところ、その方達のルーツは、いずれも三重県いなべ市員弁町宇野であった。

えっ、二之湯？

参議院議員 二之湯 智

子供の頃、父親に「どうして二之湯という名前をつけたのか」とたずねたことがある。父親は「どうせうちの先祖は百姓やから、明治時代になって適当に誰かがつけたのやろ」と言っていた。ところが、今から十数年前、田舎で親類の法事があり、その席上で古老が

「江戸の末期、このあたりに二番目のため池ができた。そのため池にちなんで二之湯としたり」と解説してくれた。「湯」という字は地名に用いられると川・泉など水の意味も表すという文献もあり、なる程と聞いていた。それ以降、私は古老の話を二之湯姓の由来と信じ、名前についてたずねられると、いつもその話をしてきた。

今から四年前になるだろうか。長男が「二之湯家」のルーツを探ろうと私に言い出した。息子の殊勝な考えに共鳴し、さっそく出掛けた。田舎に住むいとこは、二之湯の名前の由来について、昔古老から聞いた、あの話を繰り返した。そのいとこが、そう言えばと案内してくれ、近所の薬師堂に行くと、縁側に年季の入った鐘が下がっているのを見つけた。その鐘をよくよくみると江戸時代、二之湯姓の人が寄進したことが刻印されていた。さらに数日かけ、あちこち廻ってみると、村の氏神で元和九(一六三三)年に建立された棟札に、また「二之湯姓」を見つけた。

これによって、二之湯という名前が百姓町人に名前が許された明治以降ではなく、江戸時代初期からあることが判明した。さらに、信長の丹後平定(一五七八・九年)の古文書に「二之湯姓」が出てくると聞き、舞鶴の関係者に調べてもらっているが、現時点では見つかっていない。また、有楽町の歴史好きな寿司屋の主人が、自分の読んだ徳川家康に関する本の中に、たしかに二之湯という名前が出てきたと教えてくれた。

そんなことをあわせて考えると、四百年以前から「二之湯姓」があったことがわかれる。しかし、なぜ二之湯とつけたのか、その由来は判らずじまいである。昔、著名な民俗学者の池田弥三郎先生から「湯」のつく三文字の名前は、なかなか由緒ある名前だと褒めてもらったことがある。さあ、恥ずかしがらないで、誇りを持って、この名前と付き合っていこう。

京丹後市長と自民党京丹後支部役員 二ノ湯事務所を訪問



京丹後市の発展を誓う二ノ湯議員と中山市長

7月14日、自民党京丹後支部峰山分会(吉浪芳郎分会長)に所属する党員7名と中山丹後市長が参議院会館の二ノ湯事務所を来訪した。この日の主な目的は、地元国会議員の事務所を訪問して、いろいろな問題について意見交換すること。一行は、谷垣財務大臣の紹介で首相官邸を見学した後、二ノ湯事務所を訪れた。

二ノ湯議員とは、来年の統一地方選挙、参議院選挙、自民党総裁選挙の行方、そして地元丹後地域の振興などについて話合った。

京丹後支部も、他の地域支部と同様、自民党員の減少が目立つために、出来る限り党員の拡張をはかりたいと決意を示していた。なお、その五日後の7月19日、丹後地方に降り続いた大雨のため、丹後町間人二人の方が土砂崩れの犠牲となられた。その二人は事務所を訪問された峰山分会の幹事長である藤原邦夫氏の奥様の父親と姉。藤原幹事長に心からお悔やみ申し上げ、お二人のご冥福をお祈りいたします。

身辺雑記

一、先日、谷垣財務大臣に同行して、久しぶりに前尾繁三郎先生の墓参りをした。先生没後25年、いまだに節目になると、有力な政治家が先生の墓前に頭を垂れる。先生の遺徳の大きさを改めて知る。

一、「A級戦犯の靖国合祀」に、昭和天皇が強い不快感を示されたことと新聞に大きく報道された。首相の靖国参拝に反対の人々は、それを錦の御旗に分祀論を声高に叫ぶ。終戦記念日になるといつも靖国問題がやかましくなる。このことを外国に利用されないように警戒すべきだ。

一、今年の梅雨は非常に長かった。そして大雨が各地に大きな災害をもたらした。全く夏らしい感じがしないまま、夏が過ぎ去る感じだ。それも地球温暖化の影響の一つかも知れない。

一、栗東市内での新幹線の新駅凍結を掲げて、隣の滋賀県で女性知事が誕生。かなり進んでいる工事をどうして中止させるのか。難しい問題である。

一、京都市会出身の議員として、京都市政の動向は気にかかる。最近の相次ぐ職員の不祥事はどうしたことか。少し職員の不祥事が多すぎるのではないか。大阪市を笑ってはられない。

一、先日のプロボクシングライトフライ級の試合は、どうひいき目に見ても、亀田選手が劣勢であった。フェアであるべきスポーツに関係者の思惑が入っては絶対いけない。

一、やっぱり彼女が犯人だったのかという思い。秋田県の畠山鈴香容疑者が、自分の娘を殺していた。何故、娘を殺さなければならなかったのか。自分の気儘な生活のために娘が邪魔になったのか。

「新政経懇話会」入会のご案内

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所
☎075-315-2228

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>

事務所休暇のお知らせ

後援会の皆様、いつも暖かいご支援をいただき、誠に有難うございます。平素、事務所は、月曜日から土曜日まで執務致しておりますが、来る13日～16日の間は、お盆休みをとらせていただきますので、ご案内申し上げます。

二ノ湯さとし事務所

第162回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：8月27日(日) (小雨決行)
- ・出発時刻：午前9時(時間厳守)
- ・集合場所：阪急洛西口駅
- ・コース：洛西口駅→第二京都回生病院前→竹林公園→竹ノ里大橋→大蛇池公園→新林池公園→小畑川沿い→ラクセーヌ高島屋→市バスターミナル解散
- ・今回は、阪急洛西口駅から涼を求めて木陰の多い竹林公園・遊歩道を歩きます。
暑い時ほど思いっきり汗を流し、夏を乗り切りましょう。多くのご参加をお待ち致しております。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758
(当日)090-1140-4964

歩くことは
健康の基本

第161回 みんなで歩こう湯歩会(参加者55名)



JR 保津峡駅にて